

平成 22 年度ヒラメ稚魚分布密度調査結果（日本海）について

当研究所では天然ヒラメの稚魚分布密度調査を昭和55年から行っており、今年は7月21日、8月10日、8月27日に桁網（水工研型）を用いて日本海につがる市沖8点で調査を行いました（図1）。ヒラメの分布密度は桁網効率を0.28とすると16～174尾/1,000m²の範囲にありました（表1）。採集したヒラメの全長モードは7月21日に30mm台、8月10日に40mm台、8月27日に50mm台でした（図2）。水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、今年は126と平均的な水準でした（図3）。これまでの調査結果から、日本海では着底指数と翌年1才魚の資源尾数との間に正の相関が見られることから、2年後に漁獲対象となる本年生まれの資源は平均的な水準と考えられます。



図1 調査地点

太平洋海域でも同様の調査を行っていますので、調査終了後結果をお知らせします。

表1 ヒラメ稚魚分布密度
日本海

調査月日/調査点	水深 5m				水深 10m			
	出来島	高山南	高山北	車力	出来島	高山南	高山北	車力
7月21日	-	21	34	113	-	52	60	19
8月10日	115	118	41	85	115	174	108	97
8月27日	103	59	32	58	16	43	21	64

(尾/1,000m²)

* - : 未測定

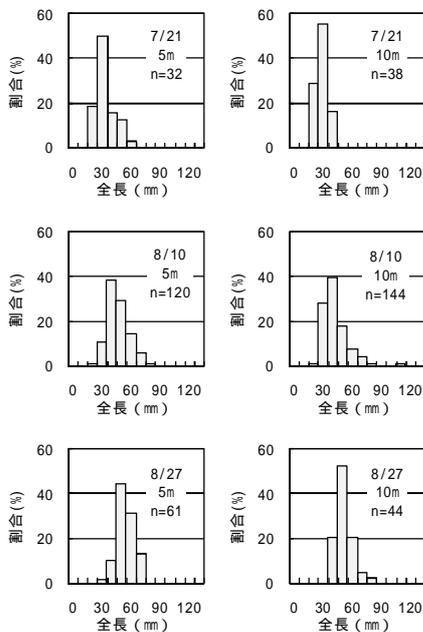


図2 採集したヒラメの全長組成

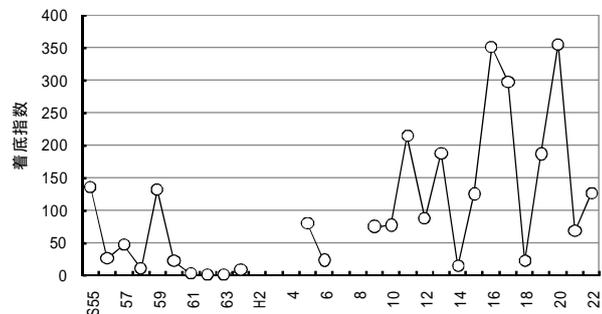


図3 日本海のヒラメ着底指数の推移

担当：資源管理部 吉田雅範